

# 三共鋼業株式会社

## サステナビリティガイドライン

2024 年 5 月

**SANKYO**



「創る喜びを共有する」

三共鋼業株式会社

## 【はじめに】

SANKYO は、社会的、経済的な価値を向上させ、サプライチェーンの皆様にも成果を還元するとともに、成長するための投資を行い 企業の価値を向上させるという経営の考え方を明確にするために「三共鋼業 サステナビリティガイドライン」を策定しました。

近年、企業を取り巻く環境は複雑化・多様化する中で「持続可能な会社運営」が提唱され、企業には 経済成長と社会的課題の解決に貢献することが求められています。

また、昨今のカーボンニュートラルに対する取り組みや人権・労働問題など サプライチェーンの皆様と共に”持続可能な社会の実現”を目指し取り組んでいきます。

## 【SANKYO の企業理念】

### 顧客本位

お客様の声を大切にし、お客様と共に感動を分かち合えるようにベストを尽くします。

### 競争力強化

変化を先取りし、独自の技術を磨き、今までに無いお客様満足を実現します。

### 社員重視

意欲・能力を最高に発揮できる環境を作り、働きがいの実現を目指します。

### 社会との調和

地域社会の一員として地域社会から歓迎される会社を目指します。

# 三共鋼業株式会社 サステナビリティガイドライン

## 「製品・サービス」の提供に関して

お客様のニーズを正しく把握し、受け入れられる製品・サービスを長期的に安定提供します。

### 1. 安全

安全で健康な職場環境が整ってこそ良い品質のモノづくりができます。安心して業務の遂行が出来る「安全第一」の職場環境づくりを致します。

### 2. 品質

製品の品質においては、不良品が造れない・流さない自己完結型の工程造りを構築して行きます。また、「品質至上」を運用基盤と考え、問題点の見える化とスピーディな対策の実施を致します。

### 3. 納入・生産

「必要なものを、必要な時に、必要なだけ」生産をします。

生産準備・生産・納入の段階で、柔軟かつ確実な対応を致します。納入不具合、納入遅延を無くしていきます。

### 4. 原価

新技術開発、生産技術の向上に努めるとともに、原価低減活動を推進しコスト競争力アップの実現を致します。

### 5. 技術

お客様のニーズ、社会の要請を的確に把握し具現化します。

カーボンニュートラル達成に向けて改善活動を継続します。

「製品・サービス」を作る過程において SANKYO は、活動として 下記項目への取組みを致します。

また、サプライチェーンの皆様に対しても、この趣旨に沿ってガイドラインを展開し、下記項目への取組みの浸透・普及に努めていきます。

## 1) コンプライアンス

### (1) 法令等の順守

- ・ 企業活動に関わる法令、条令、ガイドライン、社会良識等を順守します。
- ・ 法令等を順守するためにコンプライアンスの実践に必要な体制、教育などの仕組みを構築・運用し、その有効性を確認します。

### (2) 機密情報の管理・保護

- ・ 機密情報は、十分に注意を払って取り扱い、またそのために必要な機密情報管理の仕組みを運用します。
- ・ 外部から得られた機密情報は、自社の機密情報と同様に十分に注意を払って取り扱うとともにその目的の範囲内で使用します。
- ・ 個人情報、法令等の定める方法に従って正しく収集し、厳格に管理するとともに適正な範囲内で利用します。

### (3) 知的財産権の尊重

- ・ 技術・製品の開発にあたっては、他社の特許権等、知的財産権を侵害しないよう行います。
- ・ 他社の意匠権・商標権・著作権(ソフトウェアなどを含む)などを無断使用、不正複製しません。

### (4) 自由な競争・公正な取引

- ・ 競争相手とはフェアな競争に努め、私的独占、不当な取引制限(カルテル、入札談合等)など自由な競争を妨げる行為を行いません。
- ・ 仕入先様に対しては公正かつ公平な立場で取引を行い、仕入先に対して不当な要求を致しません。

### (5) 安全な輸出管理

- ・ 海外に製品、技術等を輸出する場合、輸出管理に関連する法令をよく理解し順守します。

### (6) 腐敗防止

- ・ 政治・行政との透明性のある関係を保ち、法令から逸脱した政治献金・寄付を行いません。

## 2) 人権の保護・労働条件の整備

### (1) 良好な人間関係の維持

- ・ 人種、宗教、国籍、信条、性別、年齢、身体障害、傷病などを理由とした差別的な扱いを行いません。

### (2) 児童労働の禁止

- ・ 各国、地域の法令による就労可能年齢に達しない児童の労働は認めません。

### (3) 強制労働の禁止

- ・ 全ての労働は自発的であること、及び社員が自由に離職できることを保証し、強制労働は行わせません。

### (4) 賃金

- ・ 最低賃金、超過勤務、賃金控除、出来高賃金、その他給付等に関します各国・地域の法令を順守します。

### (5) 適正な労働時間管理

- ・ 労働に関わる法令・諸規則を順守し、従業員の労働時間を適正に管理します。

### (6) 良き労使間の対話と協議

- ・ 労使間での誠実な対話と協議を通じ、お互いに繁栄できるように共に活動します。
- ・ 従業員が自由に結社する権利または結社しない権利を、各国該当法令に基づいて認めます。

### (7) 安全・健康な職場づくり

- ・ 従業員の職務上の安全・健康の確保を最優先とし、事故・災害の未然防止に努めています。
- ・ 職場での健康増進活動や疾病防止の為の指導等を通じて 従業員の健康づくりを支援します。

### 3) 環境への取組み

#### (1) 環境マネジメント

- ・ 幅広い環境活動を推進するため、各国・地域の法令を順守するとともに全社的な管理の仕組みを構築して、継続的に運用・改善します。

#### (2) 温室効果ガスの排出削減

- ・ 地球温暖化防止に貢献するため、事業活動での温室効果ガスの排出管理(カーボンニュートラル)を行い、削減活動を推進するとともに、エネルギーの有効活用に取り組みます。

#### (3) 大気・水・土壌等の汚染防止

- ・ 大気、水、土壌等の汚染防止に関する法令を順守するとともに、継続的な監視を行い、環境汚染を防止します。

#### (4) 省資源・廃棄物削減

- ・ 廃棄物の適正処理・リサイクル等に関する法令を順守するとともに、資源の有効活用を通じて廃棄物の最終処分量の削減に取り組みます。

#### (5) 化学物質の管理

- ・ 環境汚染の可能性がある化学物質の安全な管理を行います。
- ・ 製品については、禁止された化学物質を、当該国・地域において含有させません。
- ・ 製造工程においても禁止された化学物質は使用せず、指定された化学物質に関しては、法令に基づき排出量の把握・行政への報告を行います。

### 4) 社会への貢献

#### (1) 責任ある資源・原材料調達

- ・ 環境等の社会問題を引き起こす原因となりうる原材料の使用による地域社会への影響を考慮した調達活動を行い、懸念のある場合には、使用回避に向けた施策を行います。

#### (2) 貢献活動

- ・ 社会の発展のため社会貢献活動を推進し、社会から信頼される企業を目指して、社員ともども地域社会の活動に積極的に参加します。

#### (3) 適時・適切な情報開示

- ・ サプライチェーンが必要とする情報を正確・タイムリーかつ公正に開示し、地域社会とも良好なコミュニケーションを促進します。

## 5) リスクマネジメント

### (1)情報セキュリティ

- ・ コンピューターネットワーク上の脅威に対する防御策(サイバーセキュリティ等)を講じて 機密情報漏洩などによって自社及び他社に被害を与えない様に管理するとともに従業員の教育を行います。

### (2)事業継続計画

- ・ 災害・事故に対応した早期復旧のための事業継続計画(BCP)を策定・運用を致します。

## 6) 紛争鉱物規制への対応 (ドット・フランク法)

- ・ SANKYO が購入する部品・資材に紛争鉱物が含まれているか否かの調査を行います。
- ・ どの精錬業者から供給されているかを把握して紛争に結びつくものは使用しません。  
「錫」、「タンタル」、「タンゲステン」、「金」・・・CMRT 「コバルト」、「マイカ」・・・EMRT

## 7) 反社会勢力に対する対応

反社会的勢力に対して毅然とした姿勢で関係の遮断とその排除を行うことが企業の果たすべき社会的責任と考えます。

よって下記の通り、暴力団等反社会的勢力に対して一切の関係を持ちません。

- ・ 暴力団等反社会的勢力に対しては社内体制の整備および警察・暴力追放運動推進センター・弁護士等との連携により、組織的かつ適正な対応を行います。

## 8) サプライチェーン全体への普及・推進

- ・ 仕入先様に対しても、上記の趣旨を踏まえたサステナビリティガイドラインを展開します。
- ・ 普及・推進にあたっては、サプライチェーンの全体を意識してこれを行い、また、必要に応じたフォロー・是正対応を行います。
- ・ 仕入先の皆様もサステナビリティの取組み、普及・推進に努めてください。



三共鋼業株式会社 サステナビリティガイドライン  
2024年5月8日 初版発行

【改定履歴】